玄海原子力発電所再稼働に関して、住民説明会の開催を求めます

２０１７年2月２４日

福岡県知事　　小川　洋　　様

【要請の趣旨】

１．　佐賀県では、２月２１日から 5 つの市において住民に対し、再稼働に関しての説明会が開催されます。福岡県は、約５１０万人を超える人口を擁します。また、近年、観光客や留学生の増加、さらには経済活動での流入が激しく、多くの外国人も生活しています。
玄海原子力発電所で過酷事故が起きれば、福島原発事故の現実から鑑みて、この福岡県でも甚大な被害が予想されます。よって、福岡県でも、安全に対しての構えを持つために、住民説明会が必要と考えられます。

２．　一旦原発事故が起きれば、私達福岡県で暮らす住民は多大な被害を受けます。しかし、電力会社は、今の時点だけを考え、しかも事業者としてだけの利益を考え再稼働に邁進しています。私達福岡県の住民の多くには得るものはありません。福島の現実のように犠牲だけを押し付けられます。

３．　今回の佐賀県の説明会に対して、佐賀県庁の新エネルギー産業課に、説明会に参加させてほしいと連絡しましたところ、「佐賀県民だけしか参加できない、福岡の人は、福岡の防災機関に要望してください。」との返答をもらいました。私たちは、佐賀県には頼ることはできません。原発事故には「県境」はありません。
以上の理由により、以下のとおり要請いたします。

【要請項目】

玄海原発再稼働に関して、福岡県内すべての市町村において住民説明会を開催してください。

【要請者】

「今を生きる会」世話人代表　左近明子
玄海原発プルサーマルと全基をみんなで止める裁判の会
代表　　石丸　初美